

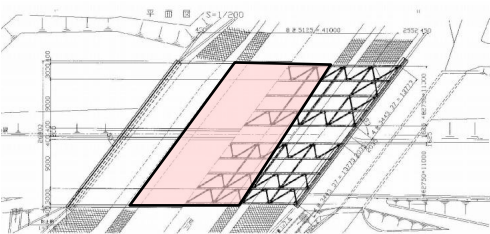
活用事例

- 橋長 : 41.90m 幅員 : 13.0m
 - 橋梁形式 : 単純鋼合成鉄桁橋
 - 対象部位・部材 : 上部工
 - 性能カタログ(又はNETIS)番号 : BR010026-V0425
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

橋梁・支援技術



位置図及び平面図



点検範囲(活用)

○点検支援技術の効果

- ・従来技術(足場)と比べ、交通規制が不要となり、現場作業時間の短縮が可能となる。
- ・高所作業がなくなり、点検員の安全性が向上する。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・対象部材に0.5mまで近接可能であり、ひびわれ幅0.1mmを検出可能である。
- ・第三者被害予防措置対象外であり、打音検査の必要がない。

○使用時の留意事項

- ・強風、降雨時は飛行不可のため、工程計画の余裕が必要。
- ・第三者影響範囲では、打音点検の併用が必要。

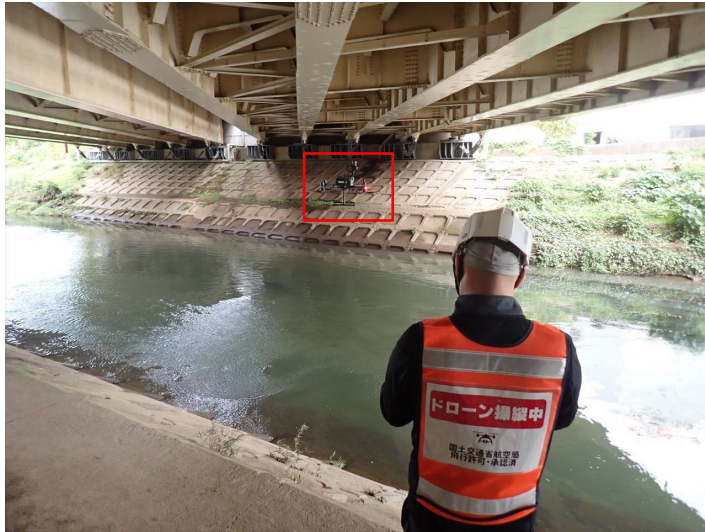


写真-1 点検状況



写真-2 点検状況



写真-3 損傷確認(床版ひびわれ)

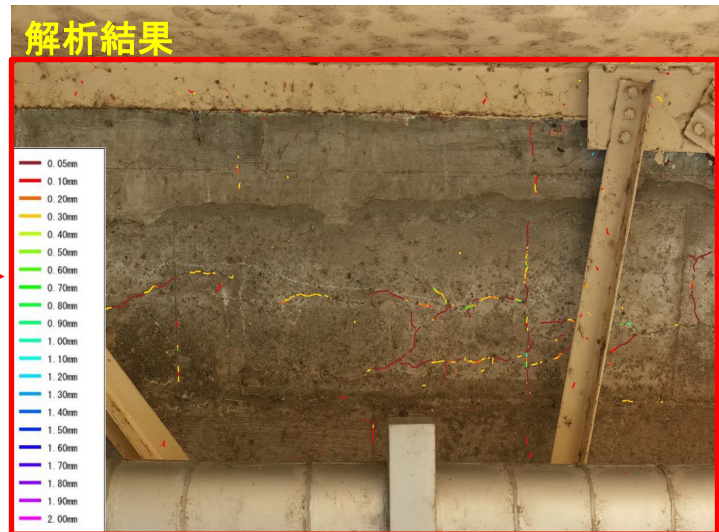
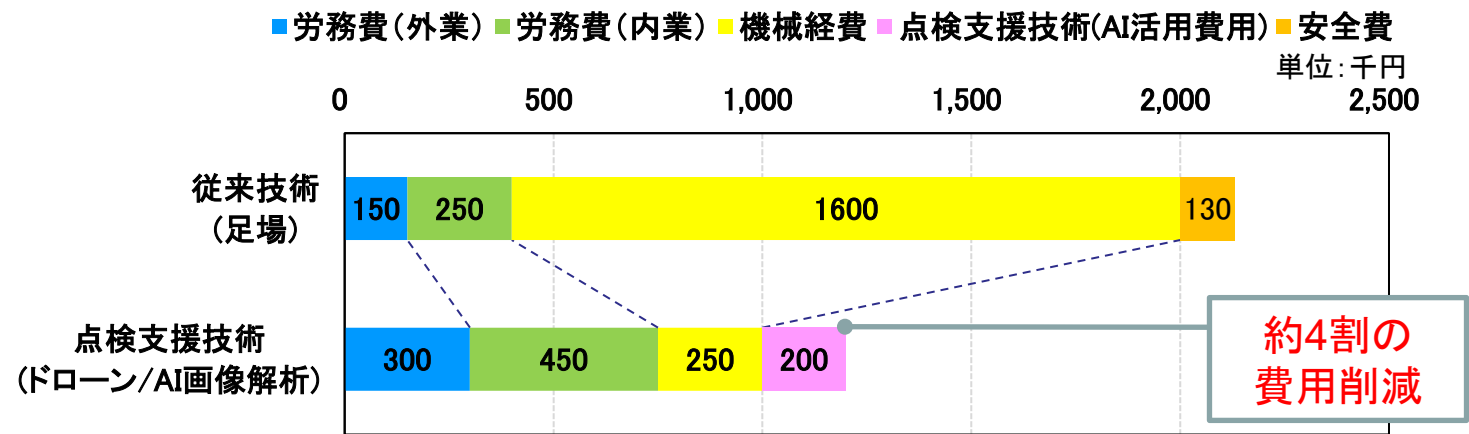


写真-4 床版ひびわれ[解析結果]

コスト比較

比較条件: 上部工を点検した場合のコスト比較。
評価: 従来技術(足場)と比べ、機械経費、安全費(規制費)のコストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	近接目視	ドローンによる状態把握
内業	点検調書の作成	点検調書の作成AI画像解析
比較対象	足場	ドローン
合計金額	2,130千円	1,200千円
工程	3日	1.5日

○諸条件
橋面積: 544.7m²
桁下高: 約6.5m (GL～桁下)
天 候: くもり
対象部位: 上部工
進入路: 有り
点検時間: 9:00～16:00
たたき落とし作業: 無し
積 算: 業者見積
前回の健全度: I 判定